

(令和6年3月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	3月の総入荷量は、これまでの暖冬傾向から一変して曇雨天や気温低下が続き、多くの品目において生育や収穫の停滞が生じたため、前年同月比で10%下回った。総取扱金額は、入荷量の伸び悩みにより相場が堅調に推移したため、3%上回った。今後は、天候が回復すれば入荷の端境も解消され、安定した入荷が見込める。 4月は、野菜では、たけのこや木の芽が最盛期を迎え、きゅうりやとまと等の果菜類が増える。果実では、不知火（デコポン）が終盤を迎え、いちご類が減少傾向となる。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は15%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は31%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で15%下回り、単価は27%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は5%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は6%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は13%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で16%下回り、単価は19%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は37%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は16%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で41%上回り、単価は16%下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん	鹿児島、長崎、徳島、滋賀を中心に香川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２５％下回り、単価は２１％上回った。
西洋にんじん	徳島、鹿児島を中心に長崎、愛知、中国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で９％下回り、単価は３６％上回った。
【葉菜類】 はくさい	長崎、兵庫を中心に滋賀、茨城、宮崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％下回り、単価は６５％上回った。
キャベツ	愛知を中心に滋賀、兵庫、大阪、和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は３０％上回った。
ほうれんそう	福岡、京都、茨城を中心に滋賀、静岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２５％下回り、単価は３０％上回った。
レタス	徳島、兵庫、長崎を中心に岡山、茨城などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１０％下回り、単価は１０％上回った。
【果菜類】 きゅうり	宮崎を中心に高知、佐賀、徳島、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は３４％上回った。
なす	高知を中心に岡山、熊本、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１７％下回り、単価は２５％上回った。

とまと	熊本を中心に福岡、佐賀、三重、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で５％下回り、単価は６％上回った。
ピーマン	宮崎、高知を中心に茨城、鹿児島、韓国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％下回り、単価は１５％上回った。
【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)	北海道、鹿児島から入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は５％上回った。
たまねぎ	北海道を中心に長崎、兵庫、静岡、中国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で４％下回り、単価は１０％上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
普通みかん	和歌山を中心に香川からも入荷した。入荷量は前年同月比で６％下回り、単価は２５％上回った。
伊予かん	愛媛を中心に和歌山からも入荷した。入荷量は昨夏の高湿干ばつの影響により生育不良となったため前年同月比で１４％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
はっさく	和歌山を中心に広島、徳島、香川、愛媛からも入荷した。入荷量は前年同月比で１６％下回り、単価は１１％上回った。
不知火（デコポン）	和歌山、愛媛を中心に佐賀、福岡、香川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３８％下回り、単価は２０％上回った。
サン富士	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で４％下回り、単価は３９％上回った。
いちご	福岡、大分、熊本、佐賀、長崎などから入荷した。入荷量は前年同月比で２０％下回り、単価は１６％上回った。
アールスメロン	静岡を中心に高知、熊本、宮崎からも入荷した。入荷量は前年同月比で８％下回り、単価は１０％上回った。